

■新型コロナウイルス感染症、伝染性紅斑熱、百日咳等の感染症に注意！

中部保健所管内では、**新型コロナウイルス感染症の報告数が急増**しています。また、県内では、**伝染性紅斑が警報基準を超えている**他、百日咳も2018年からの全数把握疾患としての調査以降、年間累計で最多を更新しています。夏季休暇中は平時に比べ人の動きが活発になることが予想されます。基本的な感染対策を行い、体調がすぐれない場合は無理せず外出を控えましょう。また、**医療機関を受診する場合は事前に連絡**し受診するようにしましょう。

感染予防の4つのポイント

1. 「体調がおかしいな」と感じたら休んで感染の拡大防止！
2. その場に応じて、マスクや咳エチケット！
3. 常時、または、こまめな換気を！
4. 手洗いや手指消毒をしっかりと！

エアコン使用中も換気！



■HIV・梅毒の検査を受けましょう

中部保健所では、HIV・梅毒等の性感染症の検査を実施しています（無料・匿名・予約制）
 検査を希望される場合は、事前予約をお願いします（TEL：0972-62-9171）
 ※大分県では、**HIV(エイズ)・梅毒 郵送検査(無料・匿名)**を実施しています
 詳細は大分県ホームページ「HIV・梅毒 郵送検査」を検索
 またはこちらのURLから確認 <https://www.pref.oita.jp/soshiki/12220/yusokensa.html>

■ダニ媒介感染症(SFTS・日本紅斑熱 等)に注意しましょう

病原体を媒介するマダニ類は、野外の藪や草むらに生息し、春から秋にかけて活動が活発になります。レジャーや農作業等で野外活動の機会が増える時期は、マダニに咬まれないよう特にご注意ください。**肌を露出しない服装**や**虫よけ剤**による対策が効果的です。ダニに咬まれた場合は、**無理に引き抜こうとせず医療機関(皮膚科など)で処置**してもらいましょう。また、**数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状がある場合は、医療機関で診察**を受けてください。

☆由布市の感染症情報については、最終ページに掲載していますので、ご覧ください☆

《定点報告》

令和7年第33週(8月11日～8月17日)

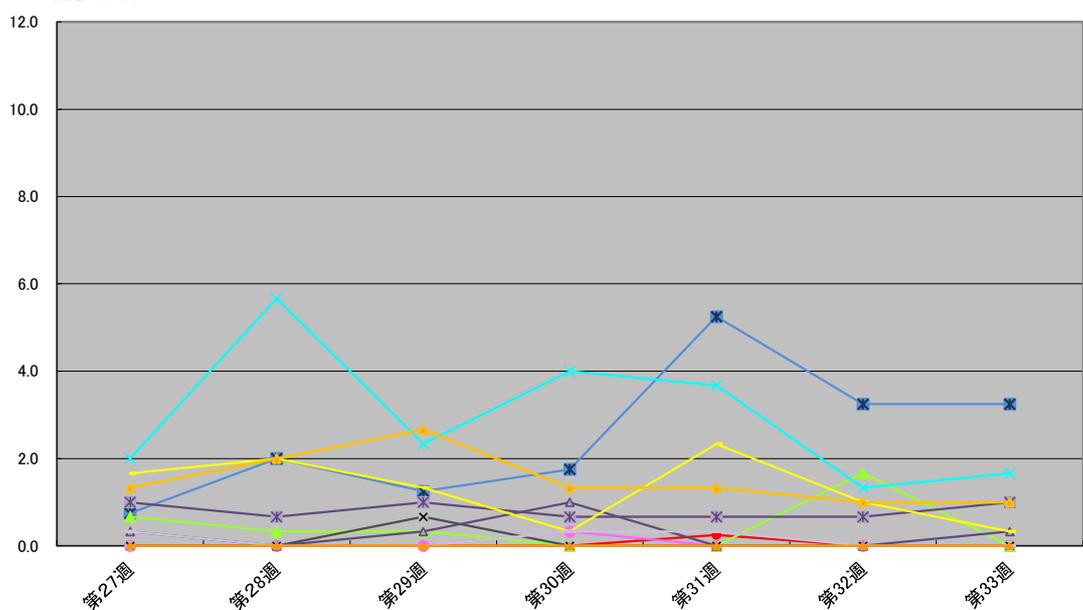
	インフルエンザ			C O V I D I 1 9	R S ウイルス	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹(はしか)	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	肺炎マイコプラズマ
	A型	B型	不明														
0歳																	
1～3歳				0.5				1.3				0.3					
4～6歳				0.3					0.3		1.0			0.3			
7～9歳				0.3													
10～14歳								0.3	0.7								
15～19歳				0.5													
20歳以上				1.8													
今週				3.3				1.7	1.0		1.0	0.3		0.3			
70歳以上(再掲)				0.8													
前週	0.3			5.3			1.7	1.3	0.7		1.0			1.0			

※感染症発生動向調査について

疾病については、指定された医療機関(定点)からの報告で発生状況を把握しています。
 ここにあげた数値は、1定点あたりの平均の患者数となります。(定点医療機関数 インフルエンザ4、小児科3)

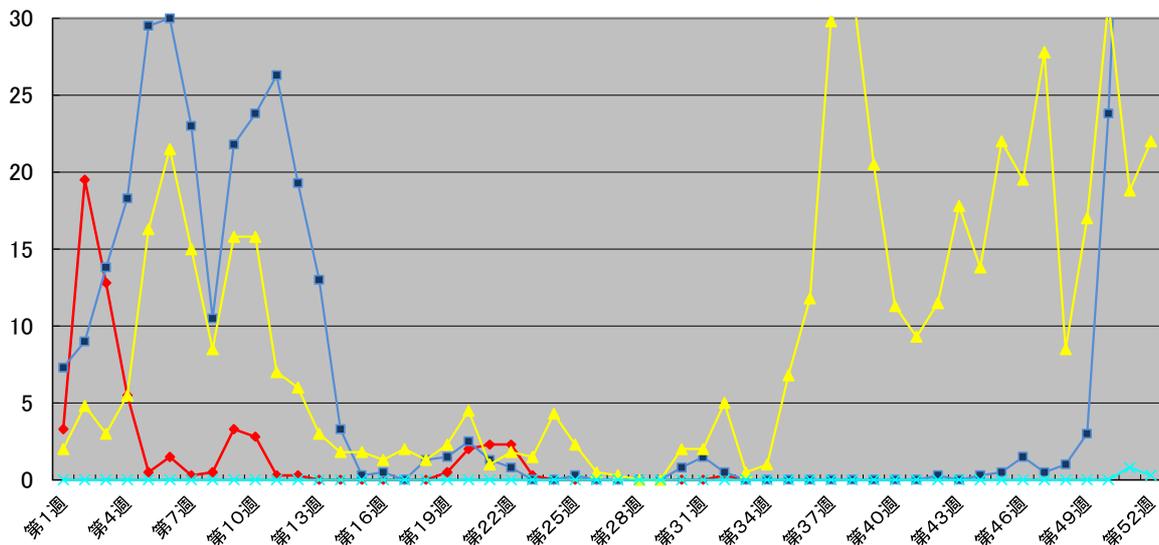
- インフルエンザ
- COVID-19
- 咽頭結膜熱
- ▲ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- ✧ 感染性胃腸炎
- ✧ 水痘
- ✧ 手足口病
- ▲ 突発性発疹
- ▲ ヘルパンギーナ
- ▲ 流行性耳下腺炎
- ▲ マイコプラズマ肺炎
- ▲ 伝染性紅斑

過去7週間の発生動向



インフルエンザ

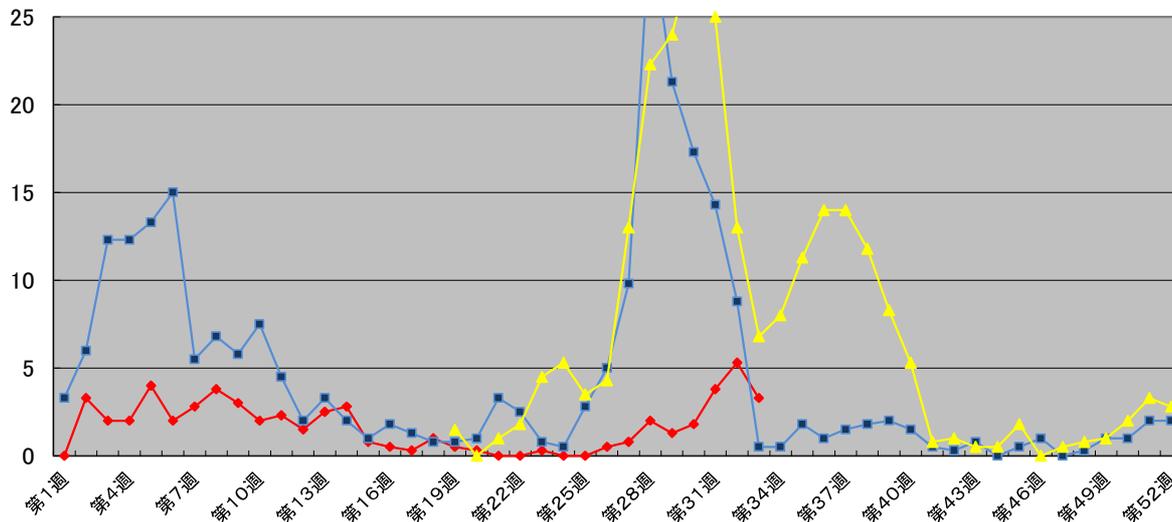
定点あたり



※2024年
第52週
定点あたり→80

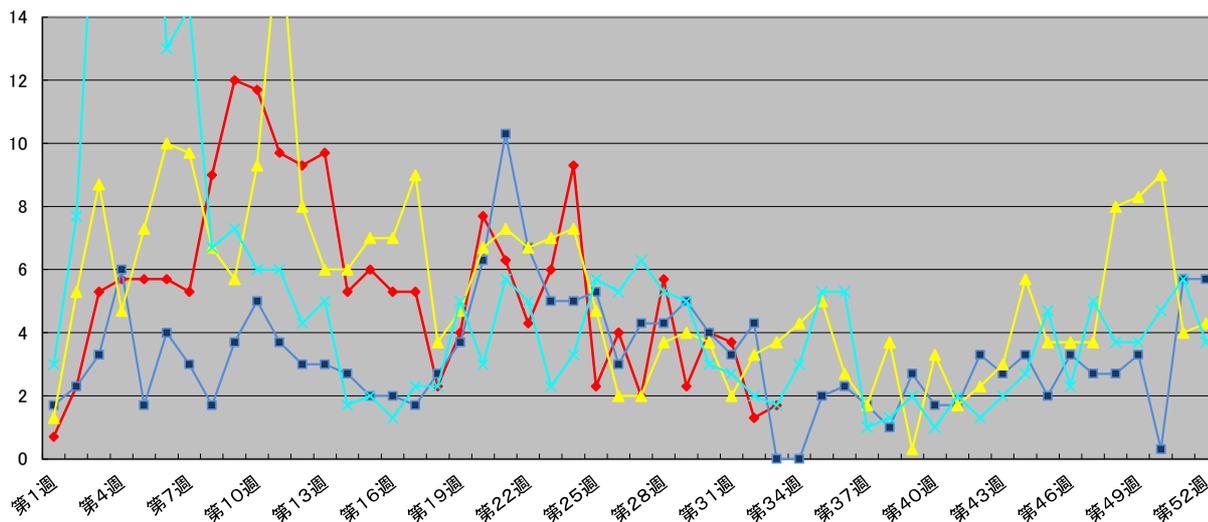
COVID-19

定点あたり



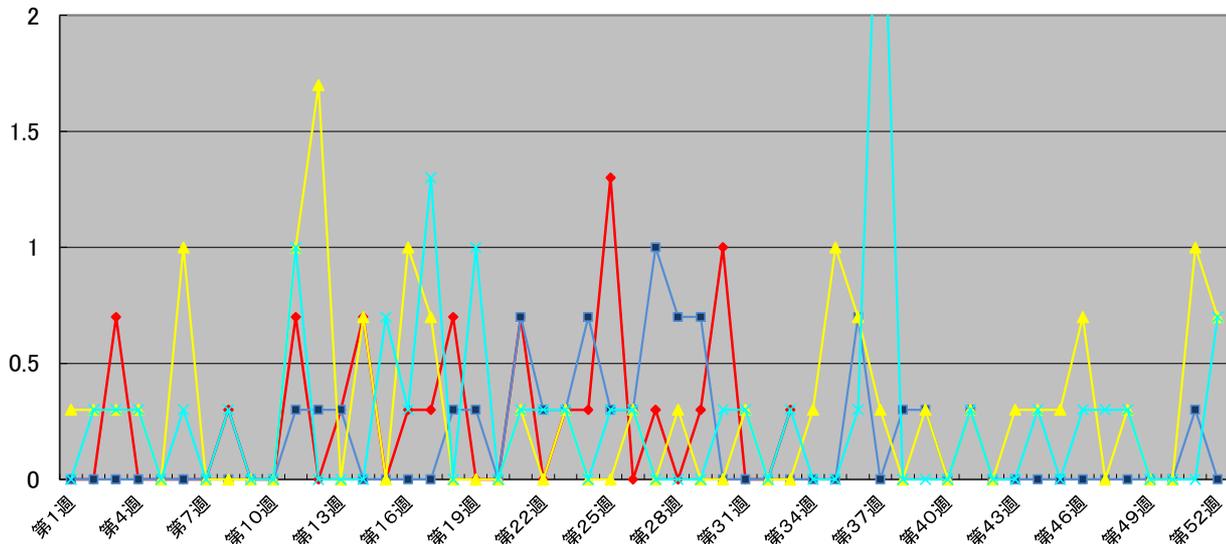
感染性胃腸炎

定点あたり



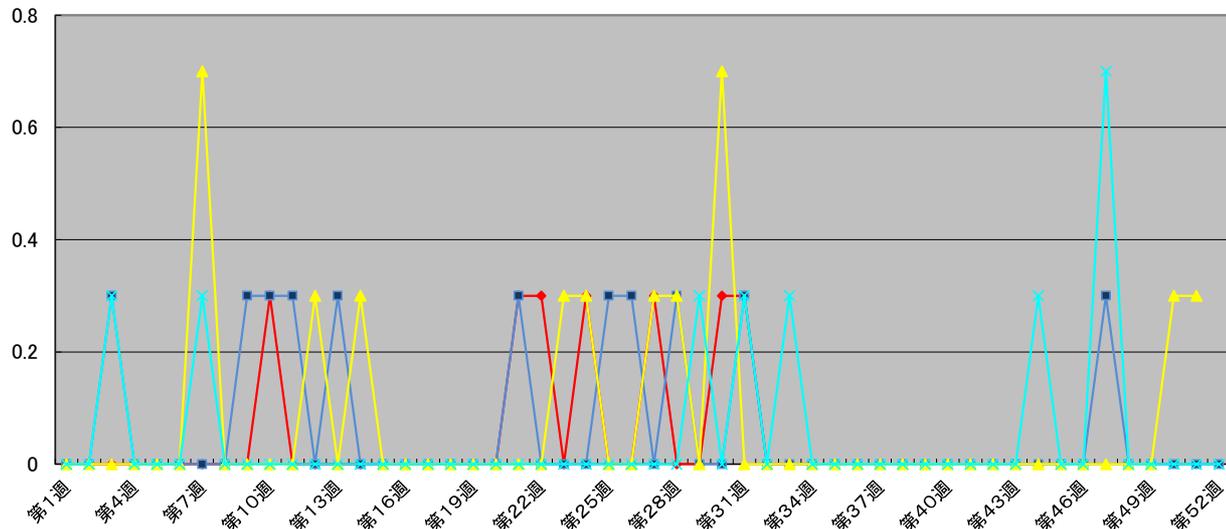
突発性発疹

定点あたり



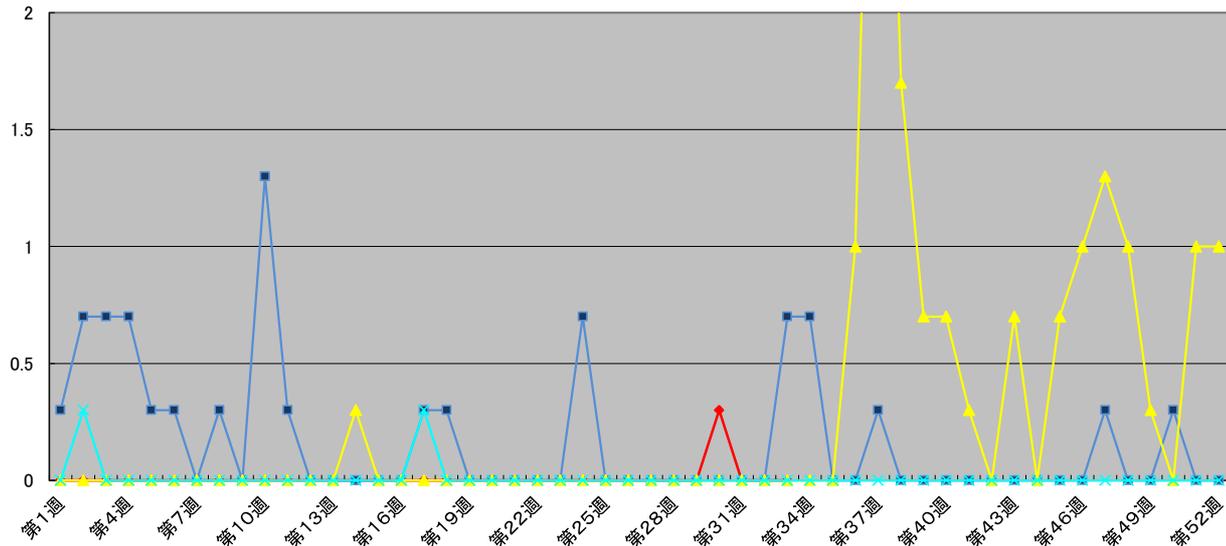
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)

定点あたり



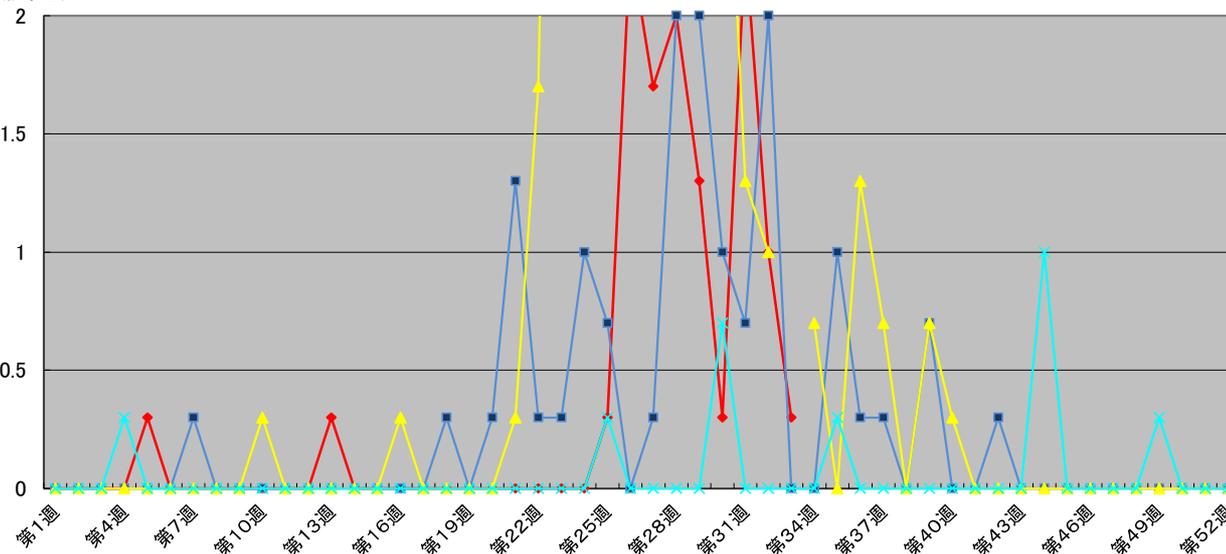
咽頭結膜熱(フェール熱)

定点あたり



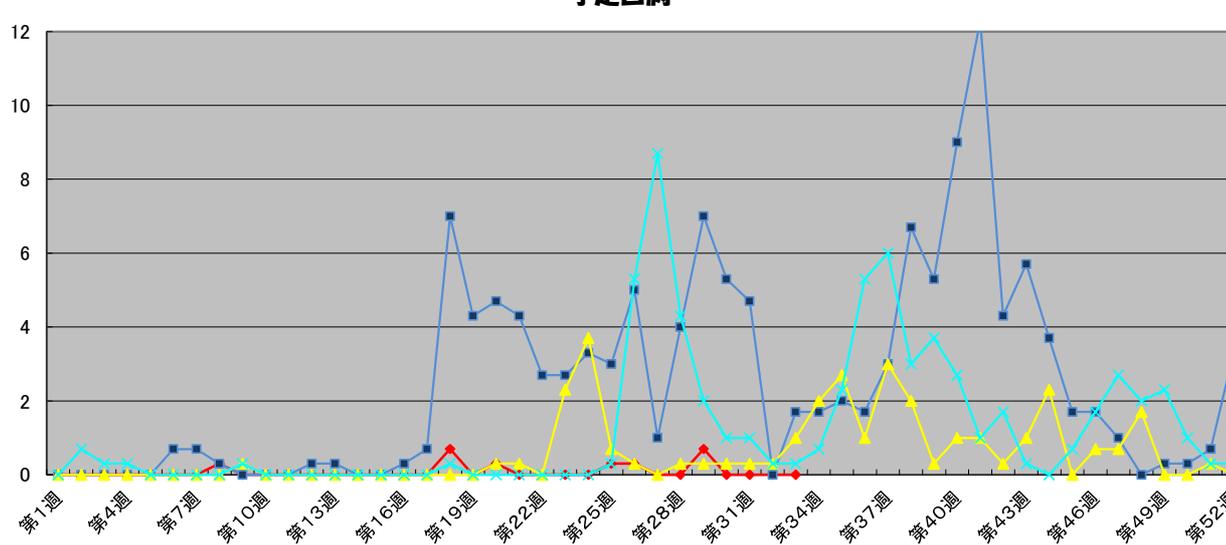
ヘルパンギーナ

定点あたり



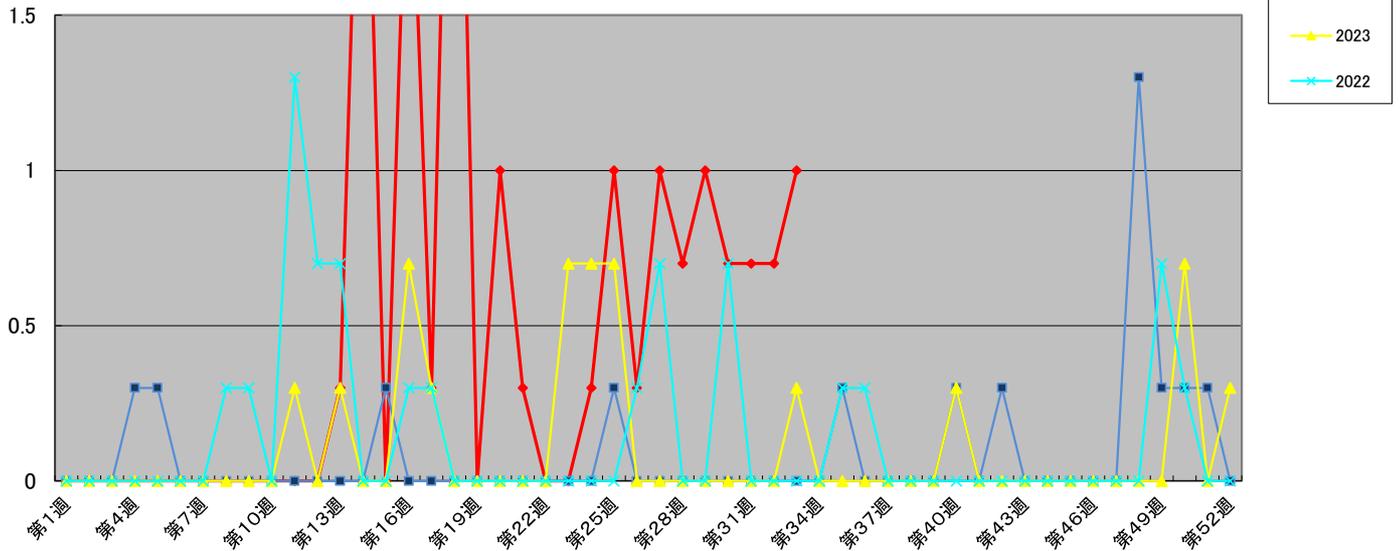
手足口病

定点あたり



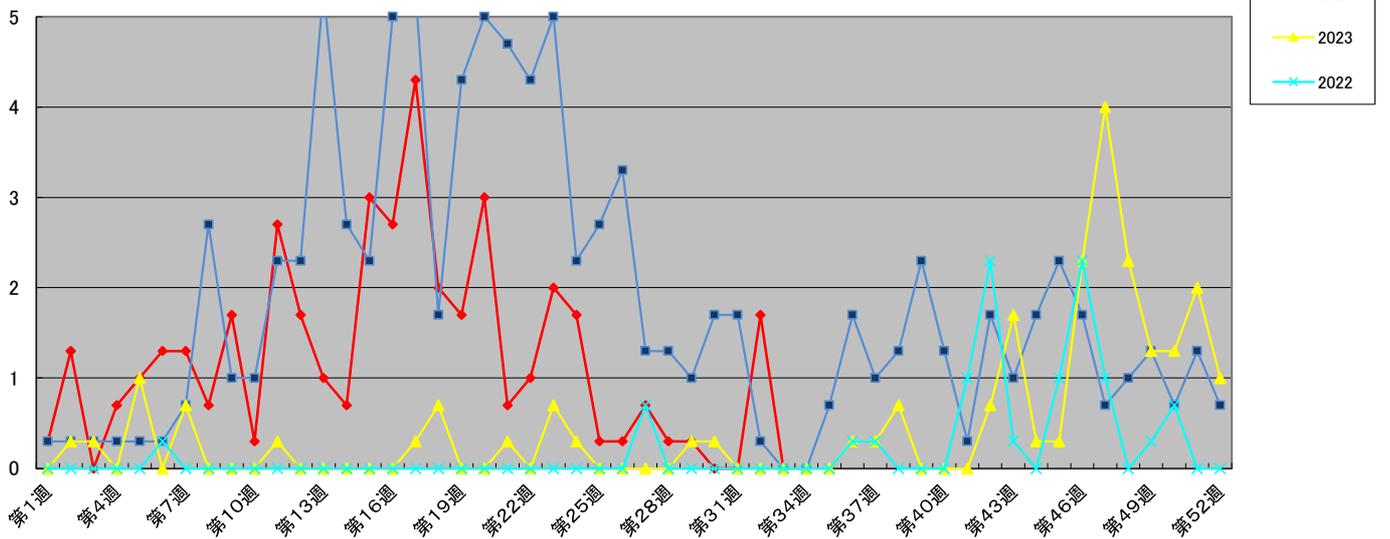
水痘

定点あたり



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点あたり



掲載内容について、不明な点がある場合は、下記へお問い合わせください
 中部保健所
 Eメール a12083@pref.oita.lg.jp
 電話 0972-62-9171
 FAX 0972-62-9173

◆◇◆ 由布保健部（由布市）感染症情報：第33週（8/11～8/17）

●【！注意！】重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の報告数が全国で過去最多を更新しました！

重症熱性血小板減少症候群は、SFTSウイルスを保有しているマダニに直接咬まれることで感染します。また、SFTSを発症している動物との接触により感染することもあります。

潜伏期は6日～2週間、主に発熱や消化器症状（食欲不振、嘔吐、下痢、腹痛）、頭痛や筋肉痛などを伴って発症します。診断や治療が遅れると意識障害や出血症状など重症化することもあるため、注意が必要です。



【予防方法】 マダニに咬まれないことが大切！ 畑や裏庭、藪や草むらに行く際には、次のポイントにご注意を！

- （1）素肌の露出を避けるため、長そで、長ズボン、長靴、手袋などを着用する。
- （2）上着を脱いで草むらに置いたり、腰をおろしたり、寝ころんだりしない。
- （3）虫よけ剤を正しく使用する。（腕・足には約15cmの距離からスプレー、顔・首筋には手のひらにスプレーしたものを肌に塗る、塗りムラのないように伸ばして塗り広げる。汗をかいたらその都度塗りなおす）
- （4）帰宅後は早めに風呂に入り、マダニに咬まれていないか確認し、必ず着替えをする。

【マダニに咬まれたときの対処方法】

マダニに咬まれた際には、無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科）で処置をしてもらってください。

また、マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱や発疹などの症状が出た際は医療機関を受診し、山林や草むら等に立ち入ったことを伝えてください。

●【お知らせ】県外における麻しん患者の発生に伴う注意喚起について

令和7年8月12日(火)、福岡県内において麻しん患者が1名報告され、感染可能期間に、大分県内の施設を利用していることが判明したため、感染拡大防止のため注意喚起を行います。

利用日時:8月3日(日)10:00～16:00(目安)利用施設:サンリオキャラクターパーク ハーモニーランド(日出町)

上記日時に施設を利用した方で、当該日時から21日以内(8月24日まで)に発熱、発しん等、麻しんを疑う症状が現れた際は、速やかに最寄りの保健所にご相談ください。また、受診時は、事前に医療機関へ電話で連絡をし、上記日時に当該施設の利用歴があり、麻しんの可能性がある旨を伝えてください。医療機関へ向かう際は、マスクを着用し、公共交通機関の利用は控えていただき、周囲の方への感染拡大防止にご協力をお願いします。

◆由布市の傾向

		小学校未満	小学生	中学生	成人(含高校生)	高齢者	計
インフルエンザ	A型	0	0	0	0	0	0
	B型	0	0	0	0	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0
新型コロナウイルス		1	1	0	10	3	15
感染性胃腸炎		0	0	0	0	1	1
水痘		0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎		0	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0	0

※数値は、由布市内の独自定点3ヶ所の報告数。

◆県内の傾向

	インフルエンザ	新型コロナウイルス	感染性胃腸炎	マイコプラズマ肺炎	流行性耳下腺炎	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
由布市	0.00 =(0.00)	5.00 ↓(6.00)	0.33 ↑(0.00)	0.00 =(0.00)	0.00 =(0.00)	0.00 =(0.00)
大分県	0.05 ↓(0.09)	8.03 ↑(7.84)	3.56 ↓(8.47)	0.00 =(0.00)	0.03 =(0.03)	1.53 ↓(2.22)
東部保健所管内	0.00 =(0.00)	9.42 ↑(7.92)	4.43 ↓(9.86)	0.00 =(0.00)	0.00 =(0.00)	2.71 ↓(4.57)
大分市保健所管内	0.12 ↓(0.18)	11.53 ↑(10.82)	7.27 ↓(17.91)	0.00 =(0.00)	0.00 ↓(0.09)	2.27 ↓(2.64)

※数値は、一定点あたりの報告数。()は、先週報告分。

【お問い合わせ】大分県中部保健所由布保健部 ☎097-582-0660